

Avocent® ACS8000 Advanced Console Server

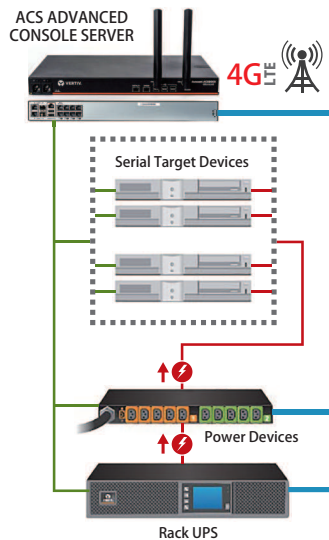


次世代のコンソールマネジメントソリューション

エッジから基幹設備まで、安全な帯域内外アクセスを実現。

特長

- NEW! 4G LTE セルラー接続によって、メイン回線、サブ回線いずれもサポートが可能。
- NEW! 環境センサーポートによって、現場の状況を可視化。
- 帯域内外のネットワークを安全にリモート管理。
- ゼロタッチプロビジョニングによる高速で自動化された設定が可能。
- セルラー、イーサネット、またはアナログモデムの自動ネットワークフェイルオーバーを使用し、遠隔地へのアクセス、トラブルシューティングが可能。
- 自動 Cyclades™ や Cisco ピン配列変換を備えたアダプターは不要。
- データセンターのアクセス・セキュリティポリシーに準拠、複数のアクセスレベルのカスタムが可能。
- Vertiv™ Geist™, ServerTech, APC Raritan や Eaton など、サポート可能なラック PDU の幅を拡大。
- Vertiv GXT4 and Vertiv GXT5 UPS をサポート
- 新規ネットワーク構築となるため IPv6、IPv4 いずれも対応可能。
- Avocent DSView ソフトウェアとの統合による集中管理が可能。
- モデム内蔵型モデルにより、強力なダイヤルアップと安全なダイヤルバックを実現。
- コンソールイベントのロギングと通知が可能です。(Last Gasp 機能付)
- コンプライアンスを遵守し、容易なトラブルシューティングを実現 - オンライン / オフラインでのデータロギング (タイムスタンプ付)。
- 1Gb SFP ファイバーモジュールを統合的にサポート。
- USB コンソールポートを搭載した新しい IT 機器や外部周辺機器に対応するための USB ポートを 8 口搭載。
- FIPS 140-2 を採用し、セキュリティを強化。



Avocent® のコンソールサーバシリーズである ACS8000 は、セルラー、ギガビットファイバー、USB やセンサーなどの重要な新接続性機能を統合し、革新的なプラットフォームで長期にわたる成功を更に継続していきます。IT 専門家やネットワークオペレーションセンター (NOC) の担当者は、このような新機能を活用し、世界中どこからでも安全にデータセンター管理や、IT 資産の帯域外管理を行うことが出来るようになりました。デュアルコア ARM プロセッサと拡張メモリ最新の Linux OS、DSView™ 管理ソフトウェアによって、最適なパフォーマンス、セキュリティ、信頼性を備えた完全な帯域外管理ソリューションを提供します。

使用用途

安全なコンソール、電源管理、サーバーやネットワーク管理
テスト / 開発ラボ環境への安全なアクセス、通信事業者の基幹設備から遠隔設備

取扱モデル

モデルNo.	概要
ACS8008SAC-404	ACS8000 8ポートモデル (シングルAC電源)
ACS8008MDAC-404	ACS8000 モデム内蔵 8ポートモデル (デュアルAC電源)
ACS8016DAC-404	ACS8000 16ポートモデル (デュアルAC電源)
ACS8032DAC-404	ACS8000 32ポートモデル (デュアルAC電源)
ACS8032DDC-404	ACS8000 モデム内蔵 32ポートモデル (デュアルDC電源)
ACS8032MDAC-404	ACS8000 モデム内蔵 32ポートモデル (デュアルAC電源)
ACS8048DAC-404	ACS8000 48ポートモデル (デュアルAC電源)
ACS8048MDAC-404	ACS8000 モデム内蔵 48ポートモデル (デュアルAC電源)

Avocent® ACS8000 Advanced Console Server



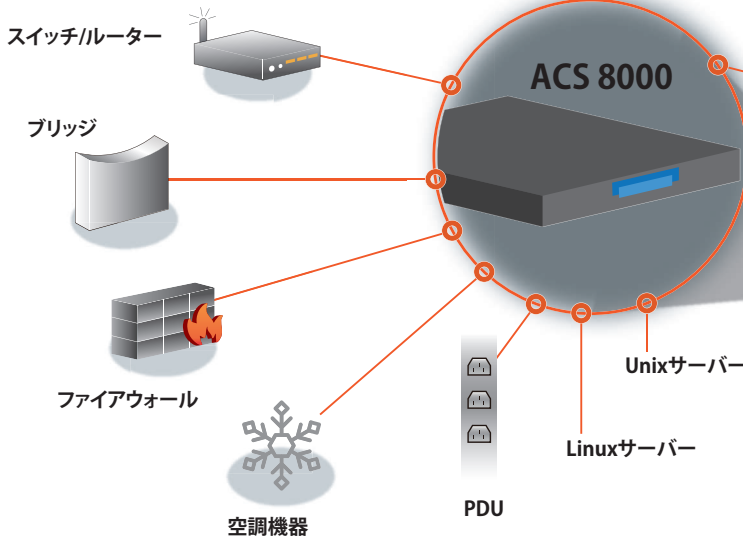
次世代のコンソールマネジメントソリューション

ACSの特長

ACS：アドバンスドシリアルコンソールサーバー

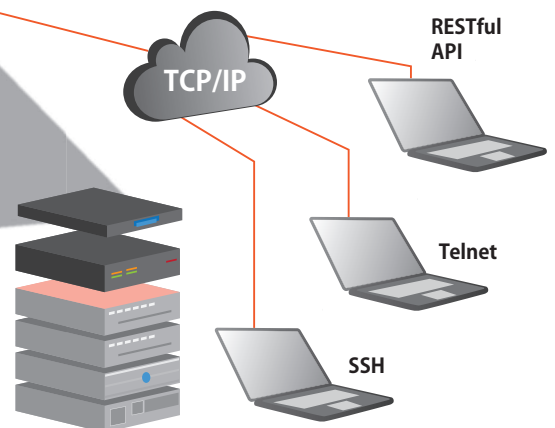
01

シリアルポートを持つあらゆる機器へ接続。



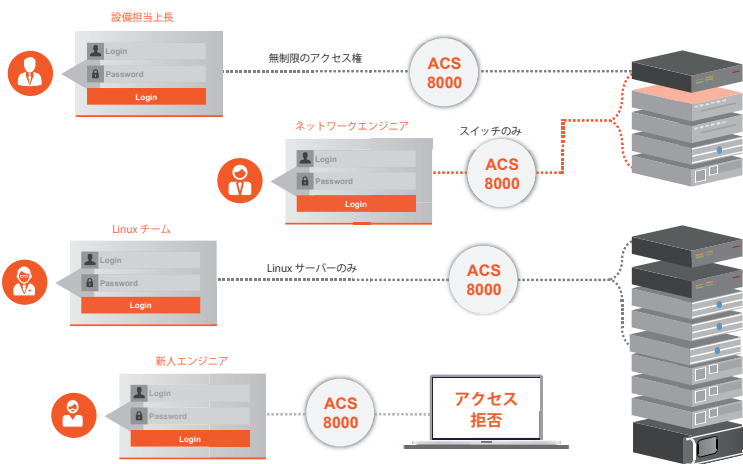
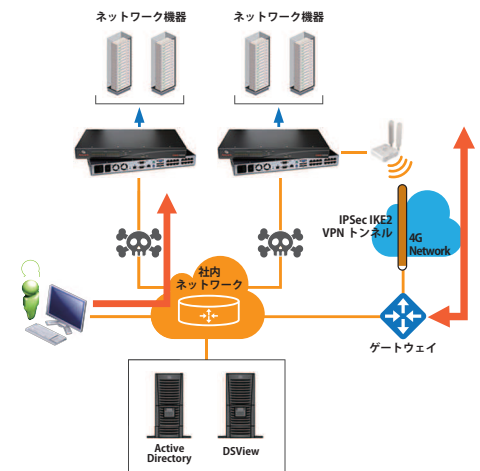
02

IP経由でのアクセスによって、telnet、SSH、API経由で任意のシリアルデバイスへダイヤルインが可能。



「いつでも、どこへでも」を現実。

セルラー機能付きモデルでは、お客様の社内ネットワーク障害時に ACS が帯域外 4G/LTE ネットワーク経由で VPN トンネルを自動構築。同じ建物内はもちろん、地球の反対側にある大規模な拠点、複数の小規模なエッジに分散している機器など、さまざまな場所にある機器へのアクセスが「いつでも、どこからでも」可能になります。



柔軟なユーザー設定と強化されたセキュリティ

管理者はユーザーの役割に応じて必要な権限の設定が可能です。

また、LDAP や TACACS+ のような業界スタンダードの認証プロトコルに加えて、OTP (ワンタイムパスワード) によって、ユーザーの重要な情報セキュリティを強化します。